

---

# 東方異世界 ~ another world in phantasm.

悠羅結界

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

東方異世界 ～another world in phantasm.

### 【Nコード】

N2523I

### 【作者名】

悠羅結界

### 【あらすじ】

本文を見れば大体分かりますが…  
一応幻想郷の説明とこれから書く予定の話の流れです。

東方ネタはほとんど皆無です（嘘

吉符「序章」・E a s s y「」（前書き）

あらすじに書きまわしたのでそちらをお願いします。

幻想の世界、幻想郷。

現実世界―機器などが発達した世界―とは切り離された、どこか懐かしさを感じる世界。ここ幻想郷には、幻想と言うだけあり、神様や幽霊、魔法使い、不老不死、妖怪、そして人間たちが「共存」

している。しかし共存とはいえ妖怪など中にも感情や意見を持つ妖怪だっている。そのため、幻想郷では意見の食い違いで多かれ少なかれ争いごとが起きる。

この時に本当の殺め合いでなければ殆どの場合「スperlカードル」が採用される。

詳しいことはここでは割愛しておく。

そんな幻想郷では良く異変が起きる（と言ってもH神社のR・Hさん）

よれば異変はここ最近は起きていないとのこと。いつぞやは幻想郷を赤い霧が覆った「紅霧異変」、いつぞやは冬が終わっても春が一向に来なくなつた「春雪異変」等がある。

このくらいで説明は十分だろうか。分からない人は、物語を読みながら理解していつてほしい。

…この物語は、そんな幻想郷に一人の少年がこの世界にやってくる物語である。そして今、あなたはその物語の紐を解こうとする―

吉符「序章 - E a s y -」（後書き）

ふう… 小説書くのって意外に疲れますね  
まあマターリと書いていきたい！と  
思います。

式符「出逢い - Lunatic -」（前書き）

このお話は、幻想入りする少年の概要的な物です

式符「出違い - Lunatic」

部屋に、一筋の光が差しこむ。

その光は、カーテンが揺らめくと、それも同じように揺らめいていた。その光は、僕の顔を照らしていた。揺らめく光が目には掛かったとき、僕は気づく。

「朝だ、と。」

「ふああ…朝か…。」

そして、朝だと気づくと、自分が寝ていたベッドから目をこすりながら降りた。

「今何時…?」

そして、まだ足がふらつきながらも机の上のカレンダー機能付き時計を見る。

「え…? 8:00か…、つて」

そして、まだ半開きの目は、時計を見た瞬間、カツと見開いた。

「つて遅刻した…!…!日本オワタ…!…!」  
…そんな大袈裟な。

「僕の7年間ノー遅刻記録もはや終わりなのかあ…!」

自分のしたことに後悔する少年。

「はあ…鬱だ死ん」

そして、少年は黒いオーラを出し始めた…?  
「ちよつとストップ!」

その瞬間、少年の目の前には隙間が

できていた。

…いや、空間に隙間ができています。  
そういった方がいいだろう。

「…って！うわ！」

そして、隙間は少しずつ広がっていった。

…その隙間の中からは沢山の視線が  
あつたことは気にしないでおく。

その後、隙間から声がした。

？「ふう…」

「あなた…誰ですか？人の家に勝手に  
入ってきて」

？「あら、人聞きの悪いことおっしゃる  
んですわね、亮君<sup>あきら</sup>」

「！ 何故名前を…」

？「まあ、庭師風に言えば、  
私に知らないことは、あまり無い…  
ということですよわね」

「え！？」

？「さて、私の正体を現しますか…」

「……………早く出てきてください」

？「私は…八雲紫と申しますわ」  
名前を名乗ると、隙間から

何かが出てきた。それは…

？「初めまして、亮君」

「え！？」



参符「対話」・Hard・「(前書き)

本当に今話で亮が幻想入りします

参符「対話 - Hard -」

とても美しい、日傘を持つている女性だった。

…家の中で日傘は無いと思うが。

紫「あら、見惚れました？そんなに驚かれて」

「あ、いや、ただ綺麗だなあって」

亮は思っていることを正直に話した。

紫「お世辞はやめていただけます？」

う、疑われた。

「お世辞じゃないですって」

紫「ふふ、ありがとうございますわ」

そして紫は口元に笑みを浮かべた。

…正直、この笑みは胡散臭かった。

紫「何か言いました？」

「（心読まれた！？）い、いや別に」

？「まあいいですわ…あなた、時間は？」

「え、時間…ってあああああああ！」

紫に促され時計を見てみると―

すでに8:25を指していた。

ショートホームルーム  
SHは8:30から。

もう学校に間に合わない時間だった。

？「…」

参符「対話」・Hard・」（後書き）

ちよつと時間なので微妙なところで切ります。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2523i/>

---

東方異世界 ~ another world in phantasm.

2010年10月9日17時21分発行